

令和8年度入学試験問題（前期日程）

小論文

中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 社会科専攻 解答例・出題の意図

（問1）では、太平洋戦争における戦勝国・敗戦国を正しく認識できているかどうかという、社会科歴史分野の知識を問う設問である。

（解答例）モンゴル語が確かめられないゆえに法廷で使用できないならば、戦勝国の一員であるソ連邦の言語であるロシア語も使用できないことになるから。

（出題の意図）本問は、現代史に関する知識を問う問題である。本文中にも、勝者・優勢の言語と敗者・劣勢の言語では扱いに違いがある点に言及されている。ゆえに、本文の読み取りならびに第二次世界大戦において、モンゴルとソ連邦が戦勝国側であることを正しく認識できているか、それゆえに、蒙古語（モンゴル語）とロシア語が勝者・優勢側の言語として優位に立つということを読み取ることができているかを問う。

参考：朕ハ帝國政府ヲシテ米英支蘇四國ニ對シ其ノ共同宣言ヲ受諾スル旨通告セシメタリ
（終戦詔書）

（問2）

（出題の意図）他国における言語的争奪は、ナチス占領下のポーランド語やカナダにおける英語、フランス語、先住者言語といった全く異なる言語の間で繰り広げられるということと、日本における漢字の存在ゆえにアイヌ語をはじめとした現地人の固有名詞を日本語に変換させてしまうことが可能であった点をまとめた上で、この点についての価値判断を含む自らの考えを論述できているかどうかを問う。